

紀要の発刊にあたって

埼玉大学地域共同研究センター管理委員会委員長 野平博之

地域社会の産業、文化および福祉の向上に資することを目的として、本学に地域共同研究センターが設置され、今年で7年目となります。この間、歴代センター長はじめ関係者の努力により、共同研究の受け入れ、産学交流会、講演会、セミナー、シンポジウム等の開催、研究・技術相談の受け付け等、多彩な活動を展開してきました。

これらの実績は年度毎に発行される、センター年報および共同研究成果報告書にまとめられております。このうちの共同研究成果報告書は当該年度中に実施された共同研究の成果を学術論文の形にまとめて編集したものであり、現在までに第1号から第6号までが発行されております。これらに収録されている論文は、いずれも産学共同研究の在り方とその成果を示す貴重な資料であり、この報告書はある種の総合学術論文誌と呼ぶべき高度な内容を備えております。

現在、学内で行われる研究の成果を発表する媒体の一つとして埼玉大学紀要があります。地域共同研究センターの成果報告書も、その内容と役割を考慮して、これを紀要と改名して発行するのが相応しいということになりました。これまでの成果報告書の第7号に相当するものがこの紀要第1号であります。

新しく発行されるこの紀要は、従来の共同研究、受託研究の成果報告にとどまらず、産学連携活動の活性化に寄与する記事を幅広く掲載し、当センターの活動を広く産業界にアピールして行くことになっております。

今後、引き続き発行されるこの地域共同研究センター紀要が、量、質ともにますます充実し、当センターがその所期の目的を達成するために、大いに役立つことを心から念願しております。